

ASAHI RUBBER INTERIM REPORT 2013

[朝日ラバー中間株主通信2013] 平成24年4月1日 — 平成24年9月30日

国内・海外の成長機会を捉え 積極的に事業展開を図ってまいります。

株主の皆様へ



代表取締役社長 横山林吉

Q1 当第2四半期は特に利益が当初予測を下回る実績となりましたが、当社を取り巻く環境をどう捉えていますか？

近年、私たちが経験したことのないような環境変化が、業界に関係なく日本の産業を揺るがしています。グローバルで見ても欧州債務危機の一方で新

興国が躍進を続けているなど、これまでにないほど速く、また大きく市場環境が動いています。これまでのような時代感やスピード感、価値観では、製品を提供し続けることだけでなく生き残っていくことさえできないと感じています。また、お客様のニーズは、価格面でも機能面でもますます厳しくなっています。

Q2 通期予測も下方修正となりましたが、どのような対策をとっていますか？

通期の業績達成は大事であると考えていますが、近視眼的に今期を何とか乗り切ればよいとは考えていません。中国の生産工場への移管に伴い、福島工場の生産量が少なくなり、収益性が低くなっていますが、現場でできる改善はまだあると考えています。環境変化に対応し、さらに半歩でも先に進めることができるような企業体質づ

くりに取り組んでいきます。今期の設備投資計画のうち、半分以上は今期の業績に結びつかない投資となっています。独自製品を市場に供給するための先行投資は、厳選しながらも積極的に行っていきます。

Q3 中期経営計画の進捗状況についてお聞かせください。

二年目となる今期の業績予測で考えると、最終年度の来期は売上高で10億円以上の伸びが必要となり、達成は非常に厳しいと言わざるを得ません。

しかし、現在の中期経営計画の大きなテーマは、次の時代に収益の柱となる製品の育成です。機能を追求しながらもコストパフォーマンスの視点も取り入れ、世界に通用する、世の中になく製品づくりを進めています。まだまだ量は少ないですが、将来楽しい製品が出始めました。これらの活動を継続して進めていきます。

第43期 第2四半期実績

売上高▶	2,407 百万円	(前年同期比 1.4%増) ↑
営業利益▶	88 百万円	(前年同期比 50.1%増) ↑
経常利益▶	64 百万円	(前年同期比 68.9%増) ↑
四半期純利益▶	40 百万円	(前年同期比 171.0%増) ↑

第43期 通期(予想)

売上高▶	4,770 百万円	(前期比 4.8%減) ↓
営業利益▶	147 百万円	(前期比 39.6%減) ↓
経常利益▶	105 百万円	(前期比 50.4%減) ↓
当期純利益▶	60 百万円	(前期比 17.6%減) ↓

経営トピックス（当第2四半期）

●海外戦略

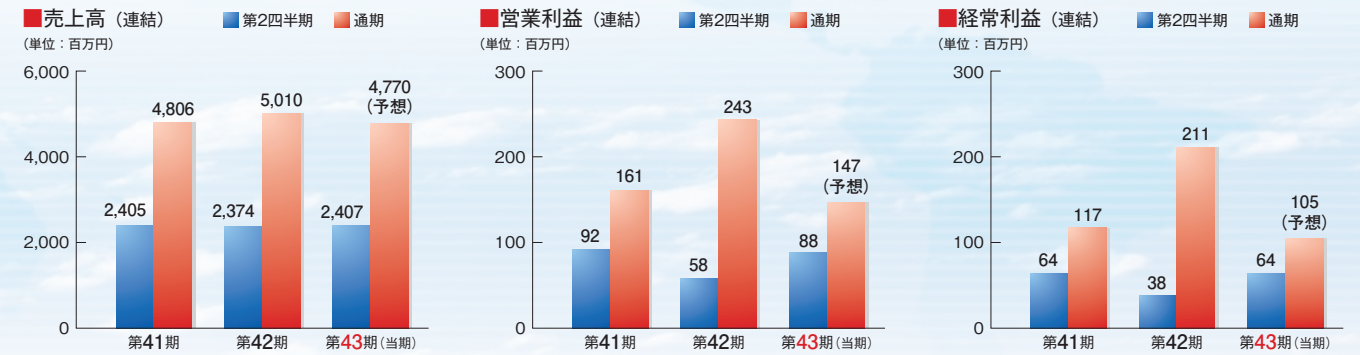
前期は、東日本大震災の発生による自動車的大幅な減産の影響と、主力製品の量産開始が遅れたため、生産工場を持つ東莞朝日精密橡膠制品有限公司とその親会社である朝日橡膠(香港)有限公司は赤字となりました。

当第2四半期は、自動車向け製品の受注が比較的好調であったことや、生産性向上と業務の効率化により黒字となりました。

今年1月に設立した販売子会社の朝日科技(上海)有限公司は、現地顧客との取引がスタートしており、当社独自製品の拡販を進めています。



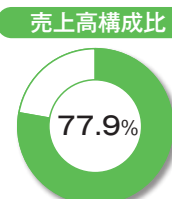
●連結財務ハイライト



工業用 ゴム事業

売上高 ▶ **1,873** 百万円 (前年同期比 5.6%増) ↑

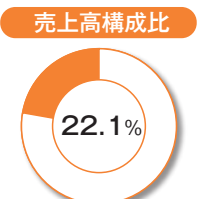
セグメント利益 ▶ **143** 百万円 (前年同期比 114.0%増) ↑



医療・衛生用 ゴム事業

売上高 ▶ **533** 百万円 (前年同期比 11.1%減) ↓

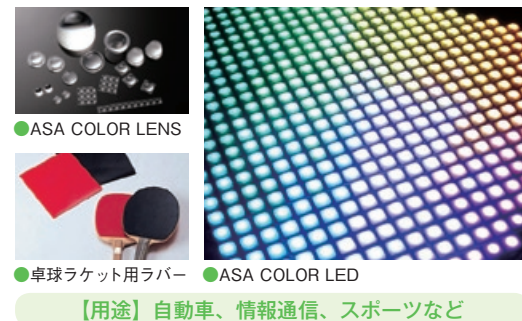
セグメント利益 ▶ **63** 百万円 (前年同期比 40.1%減) ↓



●当第2四半期の概況

照明関連分野向け製品では、青色LEDに蛍光体を配合したゴムキャップを被せて10,000色以上の光に変換することができるASA COLOR LEDが、売上高946百万円、前年同期比で23.1%増となりました。これは、前年同期は東日本大震災の影響で自動車向けの生産が大きく落ち込んでいたことと、当第2四半期は自動車向けの受注が比較的好調に推移したことによるものです。

一方卓球ラケット用ラバーは、顧客の在庫調整の影響により、売上高146百万円、前年同期比で33.2%減となりました。



●当第2四半期の概況

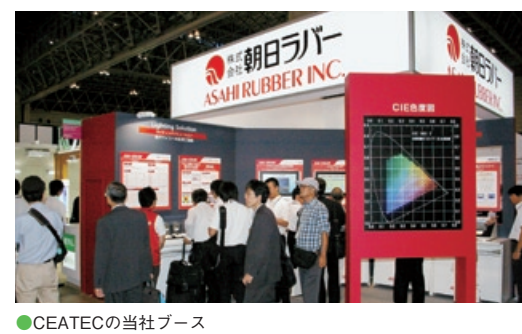
医療用ゴム製品は、一昨年にスタートしたプレフィルドシリンジ用ガスケットの新規顧客向け製品の受注は堅調に推移したものの、採血用・薬液混注用ゴム栓の受注が顧客の在庫調整により低調であったことから、売上高は前年同期比で11.3%の減収となりました。



●トピックス

今期は、新規顧客開拓と業界の評価を踏まえた技術ロードマップと製品開発企画のアレンジを図るため、各分野の専門展示会に積極的に出展しています。

継続して出展している「CEATEC JAPAN」だけでなく、食品分野の照明に特化した「フードテック」、センサ部品の技術を紹介する「センサエキスポ」に出展し、ニッチ市場で当社製品と技術の独自性をアピールしました。また、米国における初の展示会出展として、ラスベガスでの「THE LED SHOW」に出展し、米国市場のLED関連分野にもPRを行いました。

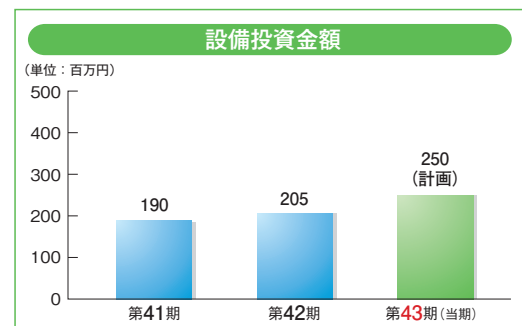


●通期の見通しと重点分野

照明関連製品は、ASA COLOR LEDの自動車向け受注が引き続き堅調に推移しました。また、遅れていたLEDの光を拡散・集光させるレンズのASA COLOR LENSの新製品の量産がようやくスタートしました。

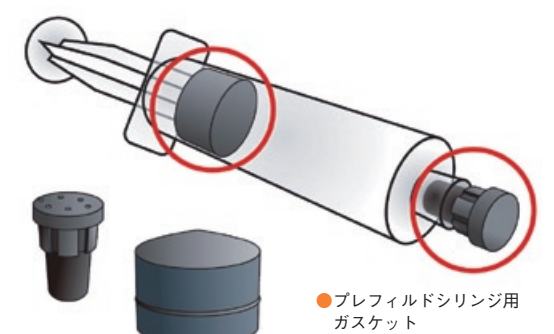
卓球ラケット用ラバーは、受注予測が引き続き低調であると予測されており、顧客との関係を密にして情報を早めに入手し、対応を進めています。

中期経営計画では、次の中期に収益の柱となる新製品の育成を大きなテーマとしています。開発中のテーマの情報を整理し、経営資源を集中させて早期の量産化を目指していきます。



●トピックス

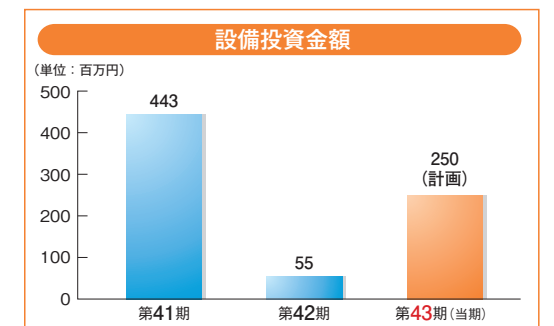
医療用ゴム製品の中核製品であるプレフィルドシリンジ用ガスケットとは、注射器の押し子の先端部分に用いられるゴムのことです。薬液をスムーズに注入させるため、摩擦が強すぎても弱すぎても使いづらくなります。また、プレフィルドシリンジとは、あらかじめ薬液を充填している注射器のことです。ガスケットが薬液に直接触れている時間が長いため、ゴムの材料と薬液が反応してはいけないといった課題があります。当社はガスケットを独自の技術でコーティングし、お客様のニーズに応えています。



●通期の見通しと重点分野

採血用・薬液混注用ゴム栓の受注は、引き続き低調で推移すると予測されています。工場での歩留り改善や生産性向上をさらに進め、収益性の向上を図ります。

一方、来期に量産をスタートさせる計画の新製品の検証をスタートさせました。今期の設備投資計画500百万円のうち、医療向けで250百万円の投資を見込み、スケジュールに沿って導入を進めています。



CSR トピックス

●機関投資家・アナリスト向け工場見学会を実施しました

9月14日に、大阪証券取引所主催の機関投資家・アナリスト向け工場見学バスツアーで20名の方が白河工場に来社されました。白河工場で生産しているASA COLOR製品の技術的特長と工程見学、また機能性ゴム製品や医療用製品も展示し、それぞれ技術の担当者が説明を行いました。



Stock Information/Corporate Profile

株式の状況／会社概要

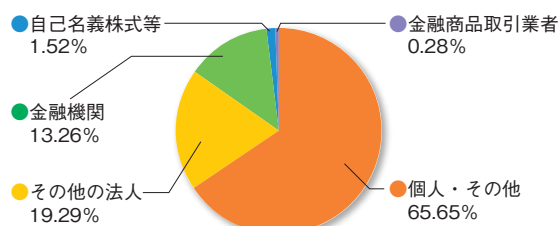
(平成24年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 11,500,000株
- 発行済株式の総数 4,618,520株
- 株主数 1,106名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	715,500株	15.73%
伊藤潤	227,000	4.99
伊藤巖	222,528	4.89
朝日ラバー従業員持株会	179,528	3.95
朝日ラバー共栄持株会	165,500	3.64

(注) 持株比率は自己株式(70,300株)を控除して計算しております。

●所有者別株式の分布状況



所有株式数 4,618,520株

- 商号 株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.)
<http://www.asahi-rubber.co.jp/>
- 所在地 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
- 設立 昭和51年6月(創業 昭和45年5月)
- 資本金 5億1,687万円
- 証券コード 5162
- 正社員数 253名
- 主な業務内容 工業用ゴム製品の製造・販売
- 主な事業所
本社 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
大阪営業所/福島工場/第二福島工場/白河工場
- 関係会社 ARI INTERNATIONAL CORPORATION
株式会社朝日FR研究所
朝日橡膠(香港)有限公司
東莞朝日精密橡膠制品有限公司
朝日科技(上海)有限公司

- 役員
取締役会長 伊藤 巖
代表取締役社長 横山 林 吉
代表取締役副社長 伊藤 潤
常務取締役 中沢 章 二
取締役 亀本 順 志
取締役 渡辺 陽一郎
常勤監査役(社外) 鈴木 敦
監査役(社外) 塙 雅 夫
監査役(社外) 野村 智 夫

●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所 (JASDAQ市場)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.asahi-rubber.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

もっと 朝日ラバーを知る

WEBで

積極的な情報開示に努めてまいりますので、ぜひご覧ください。



<http://www.asahi-rubber.co.jp/>

Twitterで

会社の最新情報をお届けします。
ぜひフォローしてください。

<http://twitter.com/AsahiRubber>